



DI EXPRESS 2023. 8

配置薬の見直しを行います

例年通り、救急の日に外来配置薬・病棟配置薬の見直しを行います。各診療科・病棟におかれましては、在庫薬品が効率よく管理できるよう、種類・数量の見直し、不要な配置薬の削除にご協力ください。

新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和5年7月14日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和5年8月9日(水)からオーダ開始しました。

麻薬処方画面の薬剤表示変更のお知らせ

8月23日(水)より、下記のように麻薬処方画面の薬剤の表示が変更となりますので、処方の際にはご注意ください。

(主な変更点)

- ・採用削除薬を(画面より)削除
- ・薬剤を50音順に変更
- ・生理食塩液、ブドウ糖を下の段に変更 等

オキファスト注10mg, 1 mL	クタール静注用 50mg, 5mL	ナルベイン注20mg, 2mL
フェンタニル注射液0.1mg「テルモ」	フェンタニル注射液0.5mg「テルモ」	レミフェンタニル静注用 2mg
レミフェンタニル静注用 5mg	塩酸ペチジン 50mg, 1 mL	塩酸モルヒネ 10mg, 1 mL
大塚生食注 20mL	大塚生食注 50mL	生理食塩水プラボトル 100mL
ブドウ糖プラボトル5%, 20mL	ブドウ糖 5%, 50mL	ブドウ糖 5%, 100mL

投与期間制限解除のお知らせ

- ◎イグザレルト錠 2.5 mg(一般名:リバーロキサバン)＜選択的直接作用型第Ⅹa 因子阻害剤＞
- ◎ボックスゾゴ皮下注用 0.4 mg(一般名:ボソリチド(遺伝子組換え))＜軟骨無形性症治療剤＞ ※臨時採用医薬品

薬価収載後1年が経過するため、2023年9月1日から投薬制限が解除され、長期投与可能となります。

「デノシン点滴静注用 500 mg」の入荷状況について（第二報）

抗サイトメガロウイルス化学療法剤「デノシン点滴静注用500 mg」につきまして、参考試験である再溶解試験において、再溶解時間の遅延が認められ、次回入荷の目途が立たなくなったことから、第一報では在庫消尽後、出荷停止となることをお知らせしておりました。

この度、品質に問題がないことが確認され、出荷停止を回避できる見込みとなった連絡がありました。しかし、安定供給となるまでは、供給量不足の状況が継続します

そのため、当院においてはこれまで通り、「デノシン点滴静注用500 mg」、同種薬の「点滴静注用ホスカビル注24 mg/mL」につきまして、漫然とした使用を避け、必要最小限の処方や、経口投与が可能な場合は「バリキサ錠450 mg」（催奇形性があるため、粉碎化・少数入力不可）への切り替えの検討をお願いします。状況によりましては、薬剤部から処方変更をお願いする場合があります。ご協力よろしく申し上げます。

禁忌追加のお知らせ

※追加部抜粋

- ◎ヘマンジオルシロップ小児用 0.375 % (一般名:プロプラノロール塩酸塩)＜乳児血管腫治療剤＞※臨時採用医薬品

【禁忌】パラガングリオーマの患者

- ◎アーリーダ錠 60 mg (一般名:アパルタミド)＜前立腺癌治療剤＞ ※院外専用医薬品

【禁忌】ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸を投与中の患者

「マイトマイシン注用 2 mg、10 mg」供給再開のお知らせ

抗悪性腫瘍剤「マイトマイシン注用2mg、10mg」につきまして、原薬の製造過程において無菌性の確保に影響する事実が判明したことから自主回収となり、本剤10mgは2019年10月22日、2mgは2019年11月1日より処方オーダーを一時停止しておりました。

このたび、本剤の供給が再開したことから、2023年7月27日より、本剤の処方オーダーを再開しました。

なお、流通再開品は国内供給に向けた承認事項一部変更の承認取得に伴い、添付文書に一部改訂がありますので、下記をご参照ください。

	改訂後（流通再開品）	改訂前
添加物	日局 D-マンニトール	日局 塩化ナトリウム
注射液の調製法	日局生理食塩液で溶解	日局注射用水で溶解
静脈内投与以外の投与経路 (動脈内、髄腔内、胸腔内、腹腔内、膀胱内)	不可	可
膀胱腫瘍の適応	なし	あり

販売中止のお知らせ

◎オルガン静注 1250 単位(一般名:ダナパロイドナトリウム)〈血液凝固阻止剤〉

販売中止予定時期:在庫消尽済み 経過措置期間満了日:2025年3月31日(予定)

◎ゾテピン錠 25 mg、同細粒 10%「ヨシトミ」(一般名:ゾテピン)〈統合失調症治療剤〉

販売中止予定時期:出荷停止中 経過措置期間満了日:2025年3月31日(予定)

◎メナクトラ筋注(一般名:4価髄膜炎菌ワクチン)〈細菌ワクチン類〉※臨時採用医薬品

販売中止予定時期:2023年8月 経過措置期間満了日:2024年3月31日(予定)

◎ブチルスコポラミン臭化物注 20 mg「日医工」(一般名:ブチルスコポラミン臭化物)〈鎮痙剤〉

販売中止予定時期:2023年8月 経過措置期間満了日:2025年3月31日(予定)

◎フルボキサミンマレイン酸塩錠 25 mg、50 mg「EMEC」(一般名:フルボキサミンマレイン酸塩)〈選択的セロトニン再取り込み阻害剤〉

販売中止予定時期:2023年12月 経過措置期間満了日:2025年3月31日(予定)

◎スルピリン注射液 250 mg「日医工」(一般名:スルピリン水和物)〈解熱剤〉

販売中止予定時期:2024年3月 経過措置期間満了日:2025年3月31日(予定)

◎ミノサイクリン塩酸塩錠 50 mg「日医工」(一般名:ミノサイクリン塩酸塩)〈テトラサイクリン系抗生物質〉

◎ドレニゾンテープ 4 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ (一般名:フルドロキシコルチド)〈皮膚疾患用密封療法剤〉

販売中止予定時期:2024年4月 経過措置期間満了日:2025年3月31日(予定)

◎カルチコール末(一般名:グルコン酸カルシウム水和物)〈カルシウム補給剤〉

販売中止予定時期:2024年12月 経過措置期間満了日:2025年3月31日(予定)

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

◎セフゾン細粒小児用10%(一般名:セフジニル)〈経口用セフェム系製剤〉

出荷量: B 出荷量減少 製造販売業者の対応 : ③限定出荷(他社品の影響)
④限定出荷(その他)

◎クラバモックス小児用配合ドライシロップ(一般名:クラブラン酸カリウム・アモキシシリン水和物)

〈 β -ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗生物質製剤〉

出荷量: B 出荷量減少 製造販売業者の対応 : ②限定出荷(自社の事情)

◎ムコサールドライシロップ1.5%(一般名:アンブロキシール塩酸塩)〈気道潤滑去痰剤〉

出荷量: A 出荷量通常 製造販売業者の対応 : ④限定出荷(その他)

◎ワイスタール配合静注用1 g(一般名:セフォペラゾンナトリウム・スルバクタムナトリウム)

〈 β ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤〉

◎オゼンピック皮下注2 mg(一般名:セマグルチド(遺伝子組換え))〈2型糖尿病治療剤(持続性GLP-1受容体作動薬)〉

◎マンジャロ皮下注2.5 mg、5 mg(一般名:チルゼパチド)〈2型糖尿病治療剤(持続性GIP/GLP-1受容体作動薬)〉

出荷量: A 出荷量通常 製造販売業者の対応 : ③限定出荷(他社品の影響)

【参考情報】

日薬連発第137号『「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義」の見直しについて』の定義に基づく

限定出荷等解除のお知らせ

- ◎ピトレシン注射液 20(一般名:合成バソプレシン)＜脳下垂体後葉ホルモン剤＞
◎プロペラ錠 2.5 mg(一般名:メドロキシプロゲステロン酢酸エステル)＜経口黄体ホルモン剤＞
2023年7月27日より限定出荷解除
- ◎ドキシル注 20 mg(一般名:ドキシソルピシン塩酸塩)＜抗悪性腫瘍剤＞
2023年8月7日より限定出荷解除

効能・効果、用法・用量追加・改訂のお知らせ

※追加・改訂部抜粋

- ◎デュピクセント皮下注300 mgペン(一般名:デュピルマブ(遺伝子組換え))
＜ヒト型抗ヒトIL-4 /13受容体モノクローナル抗体＞
【効能・効果】既存治療で効果不十分な結節性痒疹
【用法・用量】通常、成人にはデュピルマブ(遺伝子組換え)として初回に600 mgを皮下投与し、その後は1回300 mgを2週間隔で皮下投与する。
- ◎マイトマイシン注用2 mg、10 mg(一般名:マイトマイシンC)＜抗悪性腫瘍剤＞
【効能・効果】※膀胱腫瘍の適応削除
【用法・用量】※静脈内投与以外の投与経路(動脈内、髄腔内、胸腔内、腹腔内、膀胱内)の適応削除
- ◎アディノバイト静注用キット2000、3000(一般名:ルリオクトコグ アルファ ペゴル(遺伝子組換え))
＜ペグ化遺伝子組換え血液凝固第Ⅷ因子製剤＞※臨時採用医薬品
【用法・用量】定期的に投与する場合、通常、成人及び12歳以上の小児には、1回体重1 kg当たり40～50国際単位を週2回投与するが、患者の状態に応じて、1回体重1 kg当たり60国際単位に増量できる40～50国際単位を2日間隔、1回体重1 kg当たり40～80国際単位を3～7日間隔で投与できる。ただし、投与間隔を4～7日間隔に延長する場合は、一定期間出血が認められないことを確認のうえで、5日間隔投与まで、さらに7日間隔投与まで段階的に延長すること。
12歳未満の小児には、1回体重1 kg当たり40～60国際単位を週2回投与するが、患者の状態に応じて、1回体重1 kg当たり80国際単位を超えない範囲で増量できる40～60国際単位を2日間隔、1回体重1 kg当たり40～80国際単位を3～4日間隔で投与できる。ただし、投与間隔を4日間隔に延長する場合は、一定期間出血が認められないことを確認のうえで延長すること。

適正使用のお願い

DPP-4 阻害薬による類天疱瘡への適切な処置について

糖尿病治療薬であるジペプチジルペプチダーゼ4(DPP-4)阻害薬及びその配合剤(以下、「DPP-4阻害薬」)の副作用として「類天疱瘡」が知られており、添付文書等において注意喚起がなされています。

しかしながら、DPP-4阻害薬の投与後に類天疱瘡が発現した患者さんにおいて、初期症状である皮膚の異常がみられた後も本剤の投与が継続された結果、類天疱瘡の悪化をきたし、入院に至っている事例が報告されています。

DPP-4阻害薬の使用中に、そう痒を伴う浮腫性紅斑、水疱、びらん等があらわれ、類天疱瘡の発現が疑われる場合には、速やかに皮膚科医と相談し、DPP-4阻害薬の投与を中止するなどの適切な処置を行うよう、注意をお願いいたします。

院内副作用報告

院内において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
オペジーボ点滴静注	腸炎、甲状腺機能低下症

定期的な検査と臨床症状に十分注意し、異常が見られた際には、専門医にご相談をお願いいたします。

長期臨床実習が始まります

8/21から11/5まで、薬学部5年生を対象とした長期臨床実習（9名）を行います。

薬物治療の有効性と安全性向上に貢献できる薬剤師を目指して、知識と技能の取得に精力的に取り組んでいきます。病棟業務・服薬指導等で病棟を訪れた際にはよろしくお願ひします。

☆Drug Safety Update No. 319 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
ロスバスタチンカルシウム（ロスバスタチンOD錠「DSEP」） ヒタバスタチンカルシウム水和物（ヒタバスタチンCa・OD錠「トーワ」） アトルバスタチンカルシウム水和物（アトルバスタチン錠「DSEP」）※10 mg は院外専用医薬品 プラバスタチンナトリウム（プラバスタチンNa錠「トーワ」、メバロチン錠） ※メバロチンは院外専用医薬品 エゼチミブ・ロスバスタチンカルシウム（ロスゼット配合錠HD、LD） ※院外専用医薬品 シンバスタチン（リポバスタチン）※院外専用医薬品	※合併症・既往歴等のある患者：追記 <u>重症筋無力症又はその既往歴のある患者：重症筋無力症（眼筋型、全身型）が悪化又は再発することがある。</u> ※重大な副作用：追記 <u>重症筋無力症：重症筋無力症（眼筋型、全身型）が発症又は悪化することがある。</u>
チルセハチド（マンジヤロ皮下注アテオス）	※重大な副作用：追記 <u>アフィラクシー、血管性浮腫</u>
ミノサイクリン塩酸塩（ミノイシ錠、ミノイシ顆粒、ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用「サリ」）	※重大な副作用：一部改訂 <u>ループス様症候群：特に6ヶ月以上使用している長期投与例で多く報告されている。</u>
エンソレルビドルマル酸（ゾコーバ）※特例承認等医薬品	※重大な副作用：新設 <u>アフィラクシー</u>

<別紙>新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計7品目)

2023年8月9日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	イジユト [®] 点滴静注 429	注	25mg	劇 ハイリスク	214801.0	アストラゼネカ	Tremelimumab(Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤 ヒ型抗ヒCTLA-4 ϵ /クローナル抗体 ★切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌に対する1次治療で使用される(イジユト [®] +抗がん剤で使用)。 ★抗CTLA-4抗体であり、T細胞の増殖・活性化を亢進させ、抗腫瘍効果を示す。イジユト [®] は従来の抗CTLA-4抗体(ヤホイ)と比べ、ADCC活性が低いことから正常細胞に対する直接的な攻撃が少なく、irAE(免疫関連の有害事象)は起こりにくいと考えられる。 ★効果に関してはイジユト [®] +イミフィンジ [®] +抗がん剤でOSの延長効果を示されている。 ※イジユト [®] 点滴静注300mg採用あり 【発売:2023/03/15】
1	スキリージ [®] 点滴静注 399	注	600mg	劇	192321.0	アウグイ合同会社	Risankizumab(Genetical Recombination) ヒ化抗ヒIL-23 ρ 19 ϵ /クローナル抗体製剤 ★難治性クローン病に対する寛解導入療法および再寛解導入療法に使用する。 ★スキリージ [®] はヒ化抗ヒIL-23 ρ 19 ϵ /クローナル抗体製剤であり、これまでの薬剤とは違う作用機序であることと、オートドナーによる維持療法中にも、効果不十分な際には、点滴静注600mgによる再寛解導入療法が実施できるため、これまで炎症のコントロールが不十分であった症例に対して治療効果が望める。 ※使用量が多いため臨時採用から常備へ ※スキリージ [®] 皮下注75mgシリンジの採用があるがクローン病の適応なし 【発売:2023/01/13(点滴静注)】 【発売:2023/01/13(オートドナー)】
1	スキリージ [®] 皮下注オートドナー 399	皮下注	360mg		508169.0		
1	フオンガ [®] 396	錠	10mg	ハイリスク	264.4	アストラゼネカ	Dapagliflozin Propylene Glycolate Hydrate 選択的SGLT2阻害剤 ★フオンガ [®] 錠5mg(糖尿病)が院内採用となっているが、フオンガ [®] 錠10mgが慢性心不全、慢性腎臓病に対して保険適応が追加され、フオンガ [®] 錠10mg/日の処方が増加した。 ★ホリファーマーの観点から、フオンガ [®] 錠5mg2錠よりフオンガ [®] 錠10mg1錠の方が望ましい。退院後の服薬間隔の予防が期待できる。 ※院外専用から常備へ ※常備医薬品でフオンガ [®] 錠5mgの採用あり 【発売:2014/05/23】
1	マンジャロ [®] 皮下注アテオス 249	皮下注	2.5mg	劇 ハイリスク	1924.0	田辺三菱	Tirzepatide 持続性GIP/GLP-1受容体作動薬 ★2型糖尿病 ★マンジャロ [®] は、世界初のGIP/GLP-1受容体作動薬である。膵臓 β 細胞の受容体と結合することにより、グルコース濃度依存的にインスリン分泌を促進させる。優れた血糖低下効果を有しており、国内第Ⅲ相臨床試験SURPASS J mono試験において、デュラグルチド [®] 0.75mg群に比べてHbA1cの優越性が検証された。また、海外試験であるSUEPASS-2試験において、セマグルチド [®] 1mg群に比べてHbA1cの優越性が検証された。 ★主な副作用は悪心、嘔吐、下痢、腹痛等の消化器症状となっている。新規作用機序の2型糖尿病の治療薬として、血糖コントロールが不十分な患者(既存治療効果不十分を含む)において有用。 【発売:2023/04/18】
1			5mg		3848.0		
1	リブ [®] 点滴静注 429	注	350mg	劇 ハイリスク	450437.0	サファイ	Cemiplimab (Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤 ヒ型抗ヒPD-1 ϵ /クローナル抗体 ★癌化学療法後に増悪した進行または再発の子宮頸癌治療 ★進行・再発子宮頸癌に対して当院ではカルボプラチン+パクリタキセルによる殺細胞性抗がん剤を主軸とした化学療法を主治療としている。一方で治療抵抗性となった場合のセカンドラインの薬剤として有用なレジメンはほとんどなく治療に難渋することが多い。こうした白金製剤抵抗性症例に対して、国際共同第Ⅲ相試験R28100-ONC-1676試験が行われ、リブ [®] の有効性が検討された。試験では投与群では有意にOSが延長されたことが報告され、リブ [®] はこれまで治療制御が不能で治療終了とせざるを得なかったような症例に対する事実上唯一のレジメンとして期待される。 【発売:2023/03/30】

⑥臨時採用医薬品(合計7品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	イムノマックス [®] - γ 注 639	注	100万国国内標準単位	劇	8,699.0	塩野義製薬	Interferon Gamma-1a(Genetical Recombination) 遺伝子組換え型インターフェロン γ 製剤 ★Stage II Bの進行した菌状息肉症に対して病期の進行を予防できる。 ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:1990/02/19】
6	エサルミア [®] 429	錠	50mg	劇 ハイリスク	6,267.7	第一三共	Valemetostat Tosilate 抗悪性腫瘍剤 ★再発難治性成人T細胞白血病リンパ腫 ★他院からの継続 ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2023/04/06】
6	タハリス [®] 399	錠	150mg	-	6,226.8	キッセイ薬品工業	Fostamatinib Sodium Hydrate 経口血小板破壊抑制薬 ★慢性特発性血小板減少性紫斑病治療剤 ★各種治療に治療抵抗性となっており、常備薬では治療が困難なため。 ★血小板を増加させることで出血によるQOL低下の予防、致命的出血の予防効果を期待。 ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2022/12/20】
6			100mg		4,188.0		
6	ニドラン [®] 注射用 421	注	50mg	劇 ハイリスク	5,754.0	アルフレッサファーマ	Nimustine Hydrochloride 抗悪性腫瘍剤 ★乏突起膠腫 ★海外で行われているレジメンには国内未承認薬があり、その代わりにニドラン [®] が使用されている ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:1980/02/01】
6	ラジカット [®] 内用懸濁液2.1% 119	内用懸濁液	35mL	-	2751.9/mL	田辺三菱製薬	Edaravone ALS治療剤(フリーラジカルスカベンジャー) ★従来の点滴製剤では、患者や介護者にとって通院が大きな負担となっているのに加えて、筋移植に伴い血管の確保が難しい点や注射という侵襲が高いなどの問題点から治療の継続が難しい場合がある。 ★点滴製剤と同様にALS進行による機能障害の進展抑制の効果に加えて、経口投与になることで患者や介護者の通院負担の軽減や侵襲性がなくなることが期待できる。 【発売:2023/04/17】
6			50mL	-	2751.9/mL		

⑦院外専用医薬品(合計10品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	アシノン 232	錠	150mg	-	19.6	セリア新薬工業	Nizatidine H2受容体拮抗薬 ★スクリーン皮下注360mgオートサー採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する。 【発売:2007/11/09】
7	コバシル 214	錠	4mg	-	66.9	協和キリン	Perindopril Erbumine ACE阻害薬 ★フォンカ錠10mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する。 【発売:1998/04/20】
7	シアリス 259	錠	10mg	-	1,248.8	日本新薬	Tadalafil 勃起不全治療剤 ★厚生労働省(以下厚労省)は2022年4月より、ED治療薬「シアリス」を不妊治療目的に限り、公的医療保険の対象と定めた。これに伴い、適正使用の観点から、「シアリス錠5mg・10mg・20mg」は、2023年4月1日より医療保険適用医薬品(男性不妊)と薬価基準未収載品(GS-1コート)は分離された。医療保険適用医薬品(男性不妊)として新たに院外専用にて採用へ。 【発売:2007/09/12】
7	ソマトロピンBS皮下注「サント」 241	皮下注	10mg	-	26,724.0	サント	Somatropin (genetical recombination) 遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤 ★ルデイトロピンフレックスプロ注 10mg限定出荷・出荷停止に伴う一時的代替治療 ★遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤ルデイトロピンフレックスプロ注 10mgが限定出荷を経て出荷停止となる。当院には同種薬として他の遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤が複数採用されているが、出荷停止となる当該医薬品の使用量から考え、成長ホルモン製剤が患者さんに安定的に提供でき、安心して治療が受けられるよう準備しておきたい。 ★当該製品の安定供給が再開されるまで、同種薬ジェトロピン(5.3mgは臨時採用、12mgは院外採用)のハイ後続品のソマトロピンBS皮下注10mg「サント」 【発売:2015/12/11】
7	タナトリン	錠	5mg	-	39.4	田辺三菱	Imidapril Hydrochloride ACE阻害薬 ★マンジャロ皮下注アテオス5mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する。 【発売:1993/12/3】
7	チラーチンS散0.01% 243	散剤	0.1mg/g	劇	59.1/g	あすか製薬	Levothyroxine Sodium Hydrate 甲状腺ホルモン製剤 ★乳幼児への先天性甲状腺機能低下症、潜在性甲状腺機能低下症に対するレボチロキシナトリウムの補充に、現時点ではチラーチンSの錠剤を粉砕して投与している。粉砕化にかかる手間が省けるため、業務の効率化に寄与する。 【発売:1994/12/15】
7	ノバルジン顆粒5% 392	顆粒	50mg/g	劇	460.8/g	ノバルファーマ	Zinc Acetate Hydrate ウィルソン病治療剤、低亜鉛血症治療剤 ★乳幼児学童への亜鉛欠乏症に対する亜鉛の補充に、現時点ではノバルジン錠を粉砕して投与している。粉砕化にかかる手間が省けるため、業務の効率に寄与する。 【発売:2023/02/01】
7	ビブラマイシン 615	錠	100mg	-	22.0	ファイザー	Doxycycline Hydrochloride Hydrate テトラサイクリン系抗生物質 ★molbihan病に対する治療 ★ステロイド、MINO、プラケニル内服など治療行うも効果なく他にかわりとなる治療がないため ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:1976/09/01】
7	モイゼルト軟膏0.3% 269	軟膏	10g	-	142/g	大塚製薬	Difamilast アトピー性皮膚炎治療剤 ★PDE4の酵素活性を選択的に阻害して抗炎症作用を示す、本邦初の外用PDE4阻害剤であり、軽傷から中等症のアトピー性皮膚炎の症状を改善する。 用法および用量に関連する注意に「小児に1%製剤を使用し、症状が改善した場合は、0.3%製剤への変更を検討すること」の記載がある。 ※モイゼルト軟膏1%院外専用で採用あり 【発売:2022/06/01】
7	ヨクイニンエキス錠「コタロー」 590	錠	-	-	6.5	小太郎漢方製薬	Yokuinin 生薬製剤 ★扁平ゆうぜいに対する治療 ★ベセル外外用、液体窒素療法などで治療を行うも効果がなく、他にかわりとなる治療がないため ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2023/04/06】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	タフマックE配合カプセル	cap	-	-	スクリーン点滴静注600mg採用の場合、削除
1	テキストロトルファン臭化水素酸塩散10%「日医工」	散	10%	-	ジユト点滴静注25mg採用の場合、削除
1	ヒューマリンR注	注射	100単位/mL	ハイリスク	マンジャロ皮下注2.5mg採用の場合、削除
1	プロゲテホー筋注	注射	125mg	-	リアタヨ点滴静注350mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計12品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	ATP腸溶錠「日医工」	錠	20mg	-	エンズプリング皮下注120mgシリン採用のため、削除 ※常備医薬品としてアデホスコワ顆粒10%採用あり
1	アシノン	錠	150mg	-	スクリーン皮下注オートサー360mg採用のため、区分7へ移行
1	イムノプラター膀胱注用(溶解液付)	外用	40mg	ハイリスク	ジェブタ点滴静注60mg採用のため、削除 ※常備医薬品としてイムノプラター膀胱注用80mg(溶解液付)採用あり
1	オラベネム小児用細粒10%	細粒	10.0%	-	エコリシ眼軟膏採用のため、区分7へ移行

1	コバシル	錠	4mg	-	フオンが錠10mg採用のため、区分7へ移行
1	コレハイン	錠	500mg	-	ハフセオ錠300mg採用のため、削除 ※常備医薬品としてコレハインミニ83%採用あり
1	サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット	外用	(カーゼ型:5.1cm×7.6cm(2"×3"))	-	オラネジン液1.5%OR消毒用アブリータ10mL採用のため、削除
1	サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット	外用	(ニューニット:15.2cm×22.9cm(6"×9"))	-	ヘマンジアルシロップ小児用0.375%採用のため、削除
1	タナトリル	錠	5mg	-	マンジャロ皮下注アテオス5mg採用のため、区分7へ移行
1	ホントールシロップ3.25%	内用	500mL	-	サルコートカプセル外用50μg採用のため、区分7へ移行
1	ホルトラック原末	内用	6g	-	モノヴァー静注500mg採用のため、区分7へ移行
1	ルナヘル配合錠ULD	錠	ノルエチステロン1mg、エチニルエストラジオール0.02mg	-	モノヴァー静注1000mg採用のため、区分7へ移行

【4】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計13品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	アイモビーグ皮下注ペン119	皮下注	70mg	-	38,980.0	アムジエン	Erenumab (Genetical Recombination) ヒト抗CGRP受容体モノクローナル抗体製剤 ★片頭痛の予防 ★CGRP製剤としてアジゾビとエムガルティが当院採用されているが、両剤とも局所皮膚反応が出現しており、継続が困難であったため。 【発売:2021/08/12】
11	イジユト点滴静注429	注	300mg	劇 ハイリスク	2,311,819.0	アストラゼネカ	※5月の薬事委員会で常備医薬品(区分①)へ
11	イツイサ249	錠	1mg	劇	3,335.9	レコルダティレア・デジーズ・ジャハン	Osilodrostat Phosphate 副腎皮質ホルモン合成阻害剤 ★ACTH同時産生の褐色細胞腫の患者。高コルチゾール血症による易感染性、電解質異常があり全身状態が不良となっている。早急に手術を行う必要があるが、全身状態不良のため手術が行えない状況にあり、本薬剤によって全身状態の改善を早急に図る必要がある。 ★採用薬のメテラホンには消化器症状の副作用が多いことから、不適なため。また、本剤はメテラホンよりも効能が強いとされており、よりよいコントロールを期待できるため。 ★副腎皮質ホルモンの合成阻害を行うことにより、コルチゾールの合成を抑えられ、現在の高コルチゾール血症の状態から改善が見込まれる。結果として、易感染性や電解質異常の改善も見込まれる。 【発売:2023/04/06】
11	イムノマックスγ注639	注	100万国内標準単位	劇	8,699.0	塩野義製薬	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	エサルミア429	錠	50mg	劇	6,267.7	第一三共	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	スベヒコ点滴静注399	注	450mg	劇	963,821.0	日本ペーリン カーインゲルハイム	Spesolimab (Genetical Recombination) ヒト化抗ヒトIL-36レセプターモノクローナル抗体製剤 ★膿疱性乾癬に対し、プレドニソン30mg/日、コセンテクス、顆粒球除去療法で加療するもプレドニソンの減量にて症状再燃あり。 ★IL17製剤で効果不十分 高齢でTHFαも使用しづらいため ★膿疱性乾癬の症状(皮疹、発熱、炎症反応、上昇等)改善 【発売:2020/06/29】
11	ソマトロピンBS皮下注「サント」シチュアバル241	皮下注	10mg	-	26,724.0	サント	※院外専用医薬品(区分⑦)にて申請あり
11	タハリス399	錠	100mg	-	4,188.0	キッセイ薬品工業	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11			150mg	-	6,226.8		
11	チラーチンS静注液243	注	200μg	劇	20,192.0	あすか製薬	※5月の薬事委員会で常備医薬品(区分①)へ
11	トレプロスト吸入液219	吸入	1.74mg	劇	18,914.2	持田製薬	Treprostinil プロスタグランジンI2誘導体制剤 ★強皮症、間質性肺疾患、肺高血圧症 ★呼吸器疾患合併PAHにおいては、内服および静注のPAH治療薬は推奨されない(肺換気血流ミスマッチの増大に伴う酸素系悪化が危惧されるため)。 従来品のベンティビス吸入液が発売中止となっており、トレプロストが肺動脈性肺高血圧症治療薬として唯一の吸入タイプの薬剤となる。 ★吸入での投与より薬剤の到達する(換気されている)部位を中心に血管拡張効果が得られ、換気血流ミスマッチの増大が軽減する(酸素化の変動が軽減される)ことが期待される。 最大投与量下で平均肺動脈圧約8mmHg低下したと報告されている。 非侵襲的であること、投与頻度も1日4回と従来品より少なく、良好なアドヒアランスが期待できる。 【発売:2023/05/16】
11	ビブラマイシン615	錠	100mg	-	22.0	ファイザー	※院外専用医薬品(区分⑦)にて申請あり
11	レキニールCa2.5腹膜透析液342	注	5L	-	-	バクスター	腹膜透析用剤 ★レキニールHCaの透析液が当院で採用されているが、本患児においては持続的な活性型ビタミンD製剤の投与による高カルシウム血症がみられており、その是正のためカルシウム濃度の低いレキニールCaでの腹膜透析が必要である。 ★レキニールCaでの腹膜透析により、適正なカルシウム濃度の維持が可能となる。 【発売:2021/08/12】

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)販売中止に伴う代替薬の採用について

販売中止薬		代替薬	
モサプリドクエン酸塩錠5mg「EE」(10.1円)	→	モサプリドクエン酸塩錠5mg「明治」(10.1円)	2023年5月24日切替済
ポトレンド配合散1g/包(6.5円/g)	→	クエンメット配合散1g/包(6.5円/g)	2023年5月24日切替済
ポトレンド配合錠(5.9円)	→	クエンメット配合錠(5.9円)	2023年5月30日切替済
ポピドンヨードゲル10%「明治」(90g)(3.51円/g)	→	ポピヨドンゲル10%(90g)(3.74円/g)	2023年6月1日切替済

3)供給停止に伴う処方オーダー時停止について

供給停止薬		
マキユエイド眼注用40mg(8056.0円)	→	2023年5月19日処方オーダー時停止
テプレノンカプセル50mg「サワイ」(6.3円/g)	→	2023年7月11日処方オーダー時停止

4)販売中止に伴う処方オーダー停止について

販売中止薬		
プロゲデポー筋注125mg(180円)	→	2023年5月31日処方オーダー停止

5)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について

2022年3月24日処方オーダー時停止	→	コートロシンZ筋注0.5mg	2023年6月8日処方オーダー再開
---------------------	---	----------------	-------------------

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)